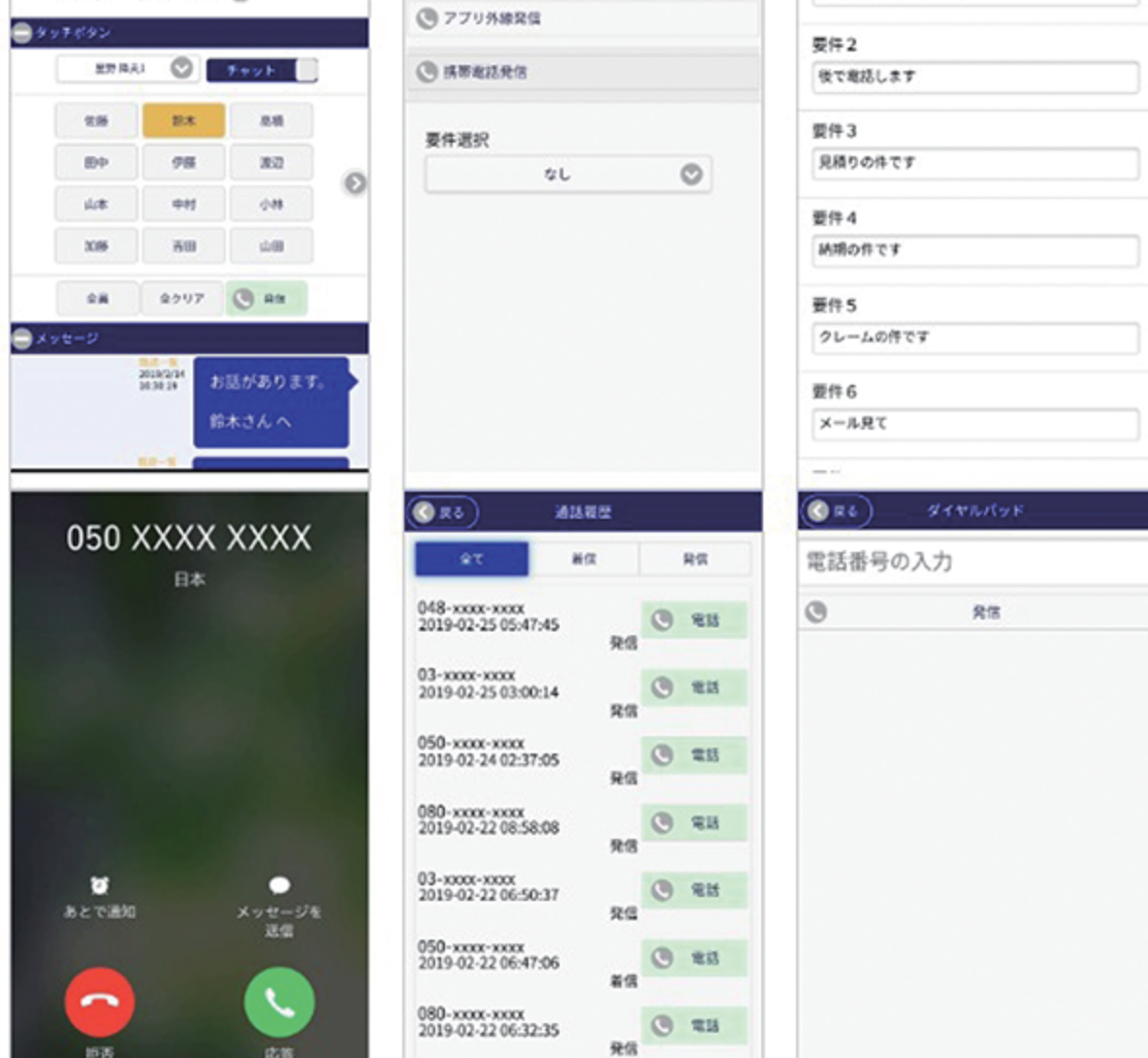


メンバーとの音声通話

発信方法

- 1) タッチ画面からグループ選択
- 2) 電話モード→送信先（複数可能）をタッチ（色が変わります）→発信→用件選択→発信モード（内線、050外線、携帯発信）を選択



注1)複数のメンバーに同時に発信した場合は、初めに出了た人に着信します。
同時発信は同一の発信モードの相手先のみです。内線と050外線との組み合わせ等はできません。

注2)用件は、予め設定した定型自由文メッセージ（10個まで）から選択します。
定型文は、自由に編集、順番の変更ができます。（タッチのメニュー→設定編集→用件定型文編集）

メッセージ入力欄での定型自由文での編集、追記はできません。

注3)通話履歴（全て、着信、発信）を確認できます。（タッチのメニュー→通話履歴）
履歴には、タッチ利用と携帯電話利用の発着信の全ての履歴が表示されます。タッチ利用だけの履歴表示はできません。

注4)履歴からの発信もできます。
（通話履歴→電話ボタン→発信モード選択（内線、外線、携帯発信））

注5)クラウド電話帳からも発信できます。
（タッチのメニュー→クラウド電話帳→検索して表示→電話ボタン→発信モード選択（内線、外線、携帯発信））

注6)直接電話番号をダイヤルしても発信できます。
（タッチのメニュー→ダイヤルパッド→電話番号の入力→直接番号入力→発信→用件を選択→発信モード選択（内線、外線、携帯発信））

着信方法

- 1) 着信があると発信者のタッチボタンの色が変わり、誰からの着信かわかります。用件があればチャットのメッセージ画面に表示されます。
- 2) 応答ボタンで電話に出れます。
- 3) 着信を保留できます。（保留ボタン）
- 4) 転送する場合は、通話中に（保留ボタンは押さないで）→タッチボタンから転送先を選択→「転送しますか。」OK→「切る」ボタンで内線転送できます。転送せず、もとの通話にもどる場合は、「切戻」ボタンになります。

- 注1) 転送先は、一人となります。
注2) 転送時は、要件メッセージを送信できません。
注3) タッチボタンから転送先を選択すると、相手は保留音になります。



音質が良くない場合

音質はスマホ端末の性能の影響を受けます。標準設定からチューニングすることで、音質が改善することがあります。（音質は保証されておりません。）

- 1) タッチのメニュー→設定編集→編集を利用します。
- 2) テスト音声によって自動で最適な設定の組み合わせを行います。
- 3) 手動でも設定できます。

エコーが気になる時は、マイクボリューム、スピーカーボリュームを低めに設定してください。エコーキャンセラをオンにしてください。

音質は、audio、、、、の
の設定の組み合わせで決まります。手動で組み合わせを変更することもできます。

